

中国語(看護学部)

選 択

開講年次：2年次後期

科目区分：演 習

単 位：1 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：入門中国語としての文字・発音・文法を学習しながら医療現場に役立つ基本的な用語・会話も学習する。また異文化コミュニケーションという観点から、中国に対する理解を深める。

- 到達目標**：①中国語で自己紹介ができる。
②中国語で初歩的なコミュニケーションができる。
③医療現場での初歩的なコミュニケーションができる。

■**担当教員**：照井 はるみ

■授業計画・内容：

- 第1回 ガイダンス：「中国語学習を始める前に」、「自分の名前は中国語で」、「挨拶用語」、「中国医療事情」
スライド・DVD鑑賞：「中日友好医院」（北京）、「馬偕記念医院」（台北）、ルポ「中国人の現代生活―夢を叶える」
- 第2回 「発音Ⅰ」・第1課 自己紹介
- 第3回 「発音Ⅱ」・第2課 これは何ですか
- 第4回 「発音Ⅲ」・第3課 これはいかがですか
- 第5回 第4課 買い物
- 第6回 第5課 どこにありますか
- 第7回 第6課 何がありますか
- 第8回 第7課 ホテルにチェックイン
- 第9回 第8課 何時に行きますか
- 第10回 映像で知る中国：ルポ「中国少数民族大運動会」、ルポ「伝承」、アニメ版・京劇舞台版「三岔口」、京劇舞台版「西遊記-三打白骨精」／「中国茶を味わう」
- 第11回 第9課 タクシーに乗る
- 第12回 第10課 試着と支払い
- 第13回 第11課 苦情を訴える
- 第14回 第12課 紛失届けを出す／自己紹介練習
- 第15回 自己紹介発表会：全員が発表者で審査員
スライド鑑賞：「春節風景in台北・西安」、「ウー・ウエン北京クッキングサロン」、「胡同」他

■**教科書**：『最新版 1年生のコミュニケーション中国語』（CD付）白水社 2,200円+税
補助プリント：歴史・生活・文化の紹介、医療用語・会話などのプリントを配布する。

■**参考文献**：『近くて遠い中国語』阿辻哲治著（中公新書）、『東京の台所・北京の台所―中国の母から学んだ知恵と暮らし』ウー・ウエン著（岩崎書店）、『美麗島紀行』乃南アサ著（集英社）、『中国人とアメリカ人』遠藤滋著（文春新書）、『すぐ使えるナースのための中国語会話1000』石渡延男監修（桐書房）、他にガイダンスで配布する「参考図書目録」（大学図書館所蔵）を参照。

■**成績評価基準と方法**：定期試験（学期末）70%、授業態度・出席30%

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
定期試験	◎	◎	○	定期試験100点満点で80点以上取得のこと。	70
授業態度・発表	◎	◎	○	毎回授業に出席しその内容を習得することが基本。1回欠席で-5点。	30
出席				2/3以上の出席。	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■関連科目：

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：2015年11月、北京で日本の学生訪中団と交流した中国のエリート学生たちは20歳前後の若者。髪型や服装はおしゃれだし、日本語もうまい。知り合って2時間ばかりのうちに互に打ち解けて笑い合い、ファッションや恋愛の話で盛り上がったという。今や日中中学生双方の生活感覚には大差が無い。一方アジアと欧州を陸海のシルクロードで結ぶ経済圏構想「一带一路」を対外政策の柱とし、強気の「大国」外交を拡大展開する構えの中国政府。また内戦の末に1949年に分断した中国と台湾は、2015年11月7日、66年ぶりに首脳会談を行った。歴史は正に動いている。授業では語学に加えて中国の近現代史・社会・文化・生活についても学習し、今後医療現場において中国語の必要性は高まるといった観点から、医療用語や会話も学習する。